

「事務の共同実施だより」

しろいし

平成 22 年 9 月 21 日
第 15 号
白石町学校運営支援室

猛暑の中 第 3 回学校施設の巡回視察点検

35℃を超える猛暑の中、総員 29 名で 8 月 20 日(金)に町内全小中学校の施設設備の巡回視察を実施しました。

「事務の共同実施」の年間計画の一環として、町校長会及び教育委員会とのタイアップで実施しており、今年で 3 回目の視察となります。今年は江口教育長も忙しい中、全部の学校を視察していただき、町内の児童・生徒の守心、安全を施設設備の充実で確保していきたいと挨拶されました。

当日は、町マイクロバスで有明中をスタートに最後の福富中まで丸一日掛けての汗だくの視察でした。

各校の事務職員は、事前に提出された視察要項を基に工夫をしながら分かり易く説明しました。共同実施では、各校の校長及び事務職員の意見を集約し、全 11 校の危険度や緊急度に応じて優先順位をつけて、教育委員会へ来年度の重点要望として報告しました。

参加者からは、「うちの学校を一番先に改修してほしいなどと思っていたが、他校の様子を見て意識が変わった。大きな不便を感じておられる学校は気の毒であり、同じ町内でこんなに差があるのかと驚いた。この学校視察は、有意義で良い企画だと思った。」との意見が聞かれました。

以下の写真は視察の様子です。皆さん真剣に取り組まれています！



今回は、白石小学校と須古小学校の2校に、学校自慢をしてもらいました。2校とも独自の感性で各々の学校を紹介してくださっています。白石町内の小中学校のイイところを是非ご覧ください！ 第3回目

白石小学校の児童の1日の様子を紹介します。

1・朝は「立腰タイム」の時間に流れるアナウンスと音楽にあわせて一日のはじまりのひとときを過ごします。(やさしくお話される声の持ち主は養護の先生で、音楽は用務員さんの手作りであることを最近になって知り本当にびっくりしました。)

※ 最後の言葉は「今日もしっかり勉強に運動に頑張りましょう」「ハイ」

クラスメイトと共に声をかけあって、今日という日のスタートを切ります。

2・はじめての来校者や職員にも元気よく「おはようございます。」「こんにちは。」のあいさつをし、軽く会釈をします。

3・お昼の掃除の時間は、指導される先生や掃除委員会のアナウンスにも熱心に耳をかたむけ、今日の掃除で頑張るところ(目当て)については「ハイ」の返事をし、力をあわせて時間いっぱい掃除をします。

このように、白石小学校では児童が学校生活や日常生活を送るうえで一番大事なことである「生活リズムづくり」と「心づくり」に学校全体で取り組みがなされています。



須古小学校のシンボル「ケヤキ」

須古小学校のグラウンドの真ん中には、学校のシンボルとして親しまれているケヤキの大木が堂々と立っています。夏場は、木陰ができ、元気に走り回る児童達の格好の《休憩所》となっています。なぜ、ケヤキが残されているのかは、不明ですが、須古小学校を卒業生した方にとっては、授業中、教室の窓から見えたケヤキの姿は、心の原風景としてしっかりと刻まれているということです。

BIG NEWS !

白石町の学校運営支援室が教育新聞に載りました。

白石町の学校支援室について、有明東小学校主査 **古賀さん** が書かれた記事が、7/26号の教育新聞に掲載されました(右の記事参照)。先生方に知って欲しいことが分かりやすく、ギュッと凝縮されていますので、是非読んでみて下さい！

現在の白石町の事務職員の状況や内部情報！？も書かれています。知って得する情報が隠れているかもしれないので、必読です☆



現場発
学校事務
の
実践

白石町では、町内11校12人の学校事務職員で白石町学校運営支援室を構成している。月2回の定例会議では、確実な情報の共有とともに町内学校の事務の平準化が図られ、

されたことが挙げられる。わたしが勤務する白石町では、町内11校12人の学校事務職員で白石町学校運営支援室を構成している。月2回の定例会議では、確実な情報の共有とともに町内学校の事務の平準化が図られ、

教委や校長と学校施設視察

会事務局および全学校の校長、事務職員が1日ばかりで修繕・工事要望箇所を視察し、点数制で優先順位を付けて次年度の予算に反映させるという取り組みがあり、透明性・公平性が大きい点が特に評価されている。事務職員にとっては、勤務

校の修繕・工事の必要性についてマイクを手各自工夫して説明を行うことにより、プレゼンテーション能力の向上にもつながっている。また、「施設」に焦点を絞って他校を見つめることは、事務職員だけでなく、校長にとっても、予算や

発表を行った。さらに、その内容を教育論文にまとめ、佐賀県教育センターから奨励賞を受賞したことは、職員の高揚にもつながり、外へ向けてのアピールの機会となった。室員からの提案も活発になり、設立から3年、決して歩みは遅くはないけれど、着実に組織として成長していると感じている。それには、毎回の定例会議への出席をはじめ、とても協力的で、良い意味でお互い利用し合いながら共に業務を進めている白石町教育委員会事務局との関係も、大変大きな要素である。

白石町学校運営支援室の業務

本年3月、佐賀県では10年ぶりに「市町立小・中学校事務職員の標準的職務」の改正が佐賀県教育委員会教育長より通知された。

特徴の一つに、室長・副室長・室員と職位別の職務内容が示された。「共同実施組織」における職務一覽表」が追加

新規採用職員や臨時雇

用職員が複数人存在することもあり、支援室活用効果が期待されている。

具体的な実践では、夏季休業中に教育委員

修繕・工事の優先順位付ける

施設管理に対する意識をさらに高めることになる。

昨年度は、学校預かり金についての町内全教職員アンケートを実施・分析し、実態と意識の把握を図り、支援室のこれまでの取り組みと合わせて、町内教育研究会において研究



佐賀県公立小中学校事務研究会事務局長
(白石町立有明東小学校主査)

古賀 由美子

★共同実施だより『しろいし』はWebでもご覧になれます。

<http://shiroishijimu.blog17.fc2.com/>

↑たくさんのアクセスお待ちしております。

携帯でもご覧になれます。

バーコードリーダー機能を使って

読み込んで下さい。

